

2021.5 vol. 117

改訂版 vol. 47

女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



はじめに

■女性委員会に入会して

女性副委員長 岡田利里

令和2年度から副委員長を務めさせて頂いております岡田です。

建築士会に入会した2018年の4月に女性委員会にも入会し、あっという間に3年が経ちました。

初めて参加した全建女(東京)では、全国の女性建築士の方たちと、意見交換や交流を楽しみ、分科会では木造塾の多様な取り組みを知ることができました。

女性建築士としての共通点があったり、建築士という同じ職業でも、普段の仕事の内容はそれぞれ違う部分もあり、刺激を受けることが出来ました。

ブロック会議に運営委員として参加した昨年度は、残念ながらオンラインのみでしたが、会議の手法の幅を広げられたという意味で、新たな未来への第一歩となれば良いと思います。

連合会、全建女、ブロック会、運営委員など、分からない事ばかりでしたが、入会間もない頃、長瀬さんに丁寧に教えて頂いた説明メモの意味が、少しずつ分かってきました。

ここ1年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで通りの活動が出来ない状況になっています。この先、マスク無しの元の生活に戻れる日がいつになるのか分かりませんから、オンライン等を活用した楽しく学びのある委員会活動を考えていきたい

と思います。状況によっては、少人数でも工夫をして集まったり出来るといいですね。

まだまだ分からない事ばかりですが、皆様にご迷惑をおかけしないよう、頑張って務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願いいたします。



今回の記事

- ◇ はじめに
- ◇ 今回の記事
- ◇ 今後の予定・お知らせ
- ◇ 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会
令和2年度前期定例 Web 会議
日時:令和2年6月27日(土)
- ◇ 令和2年度 全国女性委員長(部会長)会議
日時:令和2年11月21日(土)
- ◇ ブロック会 意見交換会
日時:令和2年11月29日(日)
10:00~11:30
- ◇ 建築士会 東海北陸ブロック会女性建築士協議会
令和2年度後期ブロック石川大会
日時:令和3年2月27日(土)
会場:Web 会議(ZOOM 使用)
- ◇ 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会
30周年記念誌発行
- ◇ 勉強会・セミナーに参加して
- ◇ 編集後記





今後の予定・お知らせ

◆ 東海北陸ブロック会前期定例 三重会議

日時: 令和3年6月26日(土)

◆ 第29回全国女性建築士協議会(福岡)大会

日時: 令和3年9月25日(土)



東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

令和2年度前期定例 Web 会議

日 時: 令和2年6月27日(土)

会 場: Web 会議(ホスト: 事務局)

参加者: 25名(岐阜県4名参加)



(Web 会議の様子)

■ 前期ブロック会 WEB 会議 報告

報告者: 伊藤 麻子

今回、新型コロナウイルスの影響で飛騨市古川町に於いての会議が中止、代わりに事務局主催のWEB 会議となりました。

ZOOM(有料版)にて午後1時受付、1時半スタートから4時過ぎまで、行われました。

参加者は岐阜県からは議事録作成長瀬さん、桂川さんと副委員長岡田さん、伊藤の4名で、総勢25名でした。議題自体は例年通りでしたが、審議事項はメーリングリストにて事前に周知、書面表決が行われたりと、少し違う様相で進みました。

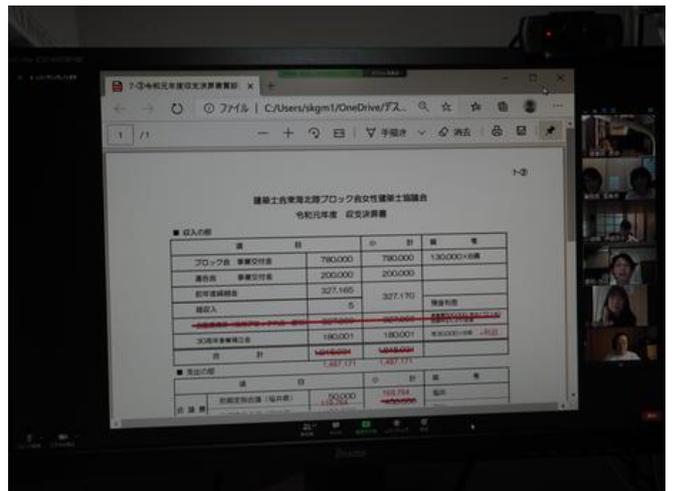
事務局の石川県さんのとりまとめのおかげで、肅々と良い話し合いができて感じています。

また移動時間、集合場所や飲食の心配が不要で気軽だった半面、実際に会合できたらより印象的だったかと思いました。

今後ますますオンラインのコミュニケーションがウェイトを占めることとなるようで、これもツールの一つとして今後我々もうまく取り入れていきましょう。



(長瀬の参加の様子)



(画面共有を使用して説明を受ける)

今回の Web 会議をおこなうにあたり、6月13日(土)に接続確認のためにホストの事務局と参加者とで無料 ZOOM を使用して練習をしました。



令和2年度

全国女性委員長（部会長）会議

日時: 令和2年11月21日(土)13:00~15:30
 場所: WEB 上にて開催
 参加者: 連合会会長、副会長、委員長をはじめ 52 名

■会議を終えて・・・

報告者: 伊藤 麻子

最初に 52 名の参加者となりましたが、最終的に 70 名以上の参加があったようです。こんなに大勢で会議ができるとはイメージできませんでした。映像も音声もあまり乱れることなく順調に進んでいったかと思いました。

30 分前から入室可能で、つながっているか確認に時間がかかったのですが、予定開始時間には一部を除いて準備完了できました。多人数では事前準備が大切と感じました。

また、セッティング時にマイクをミュートにされていない方からの話し声をご本人が知らないまま聞こえて、それがまた様々な方言やイントネーションで(山形、広島、沖縄などか?)とても暖かい気持ちになり、全国から参加しているという、対面とはまた別の臨場感で気持ちが高揚しました。

WEB会議では背景も印象に残るのですが、明るい事務所の大きな窓から高層ビル街が見えるところもあれば、大きな資料棚があったりこれも多様でしたが、意外にも私と同じような和室っぽい部屋から参加されている人も多くて、少し安心しました。

委員会活動について各県それぞれですね。活発な活動の報告を聞かせていただく度刺激になっていますし、岐阜でも福まち建築士やたくみ女子会など他県にお知らせしたい活動もあります。これらを継続していくことは、かなりのエネルギーが必要なことで素晴らしいと思います。先日、岐阜県での女性委員会設立に尽力された林直見さんに初めてお会いしましたが、改めて女性委員会の存在が大切に感じられ、これを続けていけるよう私自身も努力したいと思いました。



ブロック会 意見交換会

日時: 令和2年11月29日(日)
 10:00~11:30
 会場: Web 会議(ZOOM 使用)
 参加者: 14名(内岐阜県からは2名)

■・・・会議に参加して・・・

報告者: 岡田 利里

ブロックでの2回目となる Web 会議に参加しました。

コロナ禍で、今まで通りの委員会活動が出来なくなっている中で、どのように活動しているかという議題でした。

6県それぞれのコロナ禍での活動報告を聞かせて頂き、各県まだ模索段階ではありましたが、とても刺激を受けたお話がありました。

それは、女性委員会ではないですが、他の委員会で、有料の Web 講習を行い、その様子を YouTube にあげているという三重県や、Zoom ウェビナーを活用した講習会を行われた愛知県では、県外から一般の人の参加もあったとのお話です。

Web という誰からもアクセスできるツールを使うことで、これまで委員会の中だけで行ってきた活動を、より広範囲の人に知ってもらえるチャンスだと捉えることも出来るかと思います。

会議が終わってから、岐阜県でも外部に発信するようになって出来たらいいですねと、委員長の伊藤さんと興奮気味にお話ししました。





東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

令和2年度後期ブロック石川大会

日時: 令和3年2月27日(土)

会議 10:00~12:00

ブロック事業 13:00~15:00

会場: Web 会議 (ZOOM 使用)

テーマ: 『女性委員会の「これまで」と「いま」と「これから」
コロナ後の世界へ向けて』

参加者: 全体 33 名 (岐阜県から3名)



最後に記念撮影

担当県の石川県は一カ所に集まり運営をされており、
福井県も一カ所に集まって参加されていました。



大会資料と一緒に送られて来たお菓子。

七尾市のお菓子「大豆あめ(まめあめ)」製造元: お茶の
北島屋

説明文も添付されていました。

■建築士会東海北陸ブロック会

女性建築士協議会 令和2年度

定例会議(後期石川会議)参加報告

報告者: 伊藤 麻子

昨年の後期愛知大会が中止となっしまい、1年後の
現在も相変わらず自粛生活を続けるなか、今回の石川
大会はやはり会議、ブロック事業ともWEB開催となり約
30名出席しました。

あらかじめ、報告事項質疑書および書面表決書をメー
ルにて提出し、事前に書類とお菓子を郵送いただいた
上で行われました。おかげでスムーズな進行がなされた
と思います。

まず、開会では石川県女性委員長の田中さんと運営委
員長の矢尾さんが挨拶され、来賓の石川県建築士会会
長照田様の文章を読み上げられた後、自己紹介が行わ
れました。

○報告事項

1. 各県女性委員会今年度活動報告(午後に行うので省
略)

2. 連合会女性委員会報告

3. 東海北陸ブロック会報告 の3点

○審議事項

1. 令和2年度前期定例会議(WEB)議事録承認

2. 令和3年度女性協議会役員(案)の承認

○協議事項

1. 令和3年度前期定例会議

…令和3年6月26日(土)午後 WEB開催
予定

2. 令和3年度後期ブロック富山大会

…令和4年2月12日(土)午後 WEB開催
予定

3. 定例会議の運営について

①持ち回り順について

・2022年度運営委員長は岐阜で、分科会担当県
は順番であるなら静岡であるが、女性委員会が無いた
め、岐阜が担当することで良いか確認

・2023年度前期は石川となっているが、全建女と
重なるため翌年の富山と交代を希望

②活動費、繰越金の取り扱いについて

・連合会からコメンテーターや原稿の依頼があった場合に支援費として助成を行う。

・今後石川での全建女、40周年記念活動で予算が必要となるので特別会計を設置し準備する。

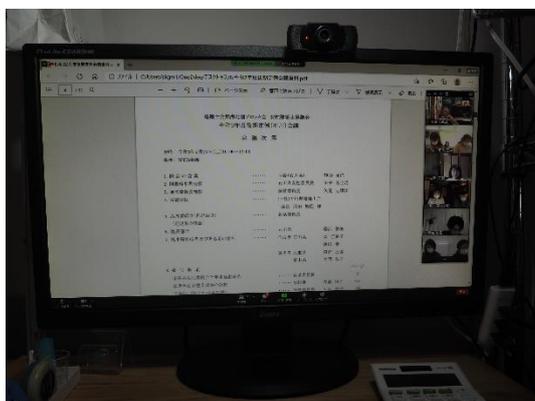
WEBでは移動の手間や会場準備など不用で大変参加しやすく、遠距離などのリスクが全くないのが良い反面、発言しにくかったりお互いの表情がわかりづらかったりで、やはり対面での会議はありがたいと感じました。



(会議の様子)



(お菓子の袋を開けると、抹茶の色の鮮やかなお菓子が出て来ました。)



(会議の様子)

■建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

令和2年度ブロック事業 参加報告

報告者：岡田 利里

日 時：令和3年2月27日(土)13:00～15:00

場 所：Web 会議(有料 ZOOM 使用)

出席者： 全体 33 名 岐阜県から 3 名

午前の会議の後、休憩をはさんで 13 時からブロック事業が始まりました。

『女性委員会の「これまで」と「いま」と「これから」 コロナ後の世界へ向けて』というテーマで、各県の活動について発表や意見交換をしました。

●各県の活動発表

三重県は、Web 会議は7名全員が出席できた。対面はなし、勉強会や見学会はしていない。

富山県は、女性委員会便りを毎年2回発刊していたが、コロナ禍で行事がなかったので1回だけしか発行できなかった。170名ほどの女性会員が年に10名くらい減っている状況。

福井県は、Web2回、対面1回で集まる機会を持てた。また、住教育事業として小学校へ出前授業をしたり、中学生への職業教育として、男性の多い建築の仕事をしている女性として、ジェンダーフリーという観点から話をした。

愛知県は、交流会1回、空き家対策のオンライン講習会、見学研修会座学編をオンラインで、その実地編を21人参加で行った。

岐阜県は、委員会をオンラインで2回行った。本県広域連合と建築士会が協定を結んだ事も、建築士会の活動として伊藤さんが報告されました。

石川県は、12月に初めて Web 会議を行い、免許交付式は対面で行った。

●建築士会の活動で感じていることや会員増強についての意見交換

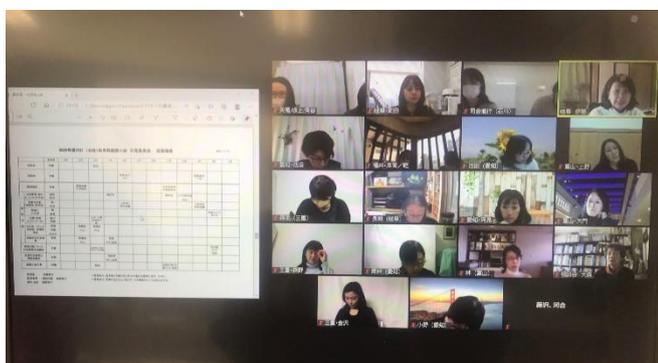
- ・免許交付式で勧誘、建築士の登録にみえたときに勧誘する
 - ・建築士会の一般向けのイベントに参加した人に声をかける
 - ・民間の資格学校の合格祝賀会において声をかける
 - ・入っているけれど活動していないという会員を掘り起こす
- というものが多かったです。

三重県は、保育園を訪問して木材で模型を作ったりして、次世代の人たちに建築士会を知ってもらう。という活動をされていました。

意見交換の最後には、各県の一番新しい会員が、入ったきっかけや活動してみたの感想を話しました。皆さんきっかけは様々でしたが、建築士であり女性ということで、子育てや悩みなどの話もできて楽しいと話されていました。

入会して3年の私は、おそらく一番新参者でした。私の場合、ある程度子育てが落ち着いてから入会したのですが、Web 会議の時に小さいお子さんの姿が見える方も時々あって、お子さんも小さく、家事や仕事をしながらの女性委員会の活動は、大変だろうと思います。しかしそういう大変さも分かり合えるという点や、仕事以外の話もできるという点で、女性委員会の良さを私自身も感じています。

Web でなければ、雑談なども含めてもっと気楽に話せる時間も持てたのかも知れないと、少し残念な気持ちになりましたが、送っていただいたお茶飴を頂きながらのWeb 会議も時間的に余裕が持てるという点ではよかったですかと思えます。



(岐阜県の発表の様子)



(参加者の様子)



東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

30周年記念誌発行



(30周年記念誌の表紙写真)

「建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会 30年のあゆみ」 発行

2020年7月発行

表紙の緑色は連合会女性委員会発行の「魅力ある和の空間ガイドブック」にて東海北陸ブロックの色が緑色なのでそれになりました。

編集作業のほとんどを愛知建築士会の女性委員がして下さいました。

内容のデータは岐阜県建築士会女性委員会ホームページの令和2年度活動報告内30周年記念冊子の所にPDF形式にてアップされています。

■建築士会東海北陸ブロック会 青年建築士協議会 令和2年度ブロック七尾大会に リモート参加して

報告者:長瀬 八州余

令和3年2月20日 13:00~17:20

YouTuber 期間限定公開 Live 配信と事前収録動画



女性建築士協議会は2月27日に開催で、今回青年建築士協議会は全てリモートということで、事前に申し込みをして参加しました。

登録者数は180名程との説明がありましたが、閲覧者数を見ていたところ、最高は分科会での93名だったように思いました。



(開会式 司会者)

開会式での来賓挨拶で公益社団法人日本建築士会連合会長の近角真一氏がリモート出演で挨拶をされました。



(近角真一氏 挨拶の様子)

全体会では各県の活動報告が事前収録動画を使用して報告がなされました。

今年度はコロナ禍ということで、見学会等の対面でおこなう事が難しかったとの報告が多くありました。

その中で石川県の報告で「えほんで広げる建築のせかい」という取り組みが一番驚きました。絵本を通じて子供たちに建築の魅力を伝える事業ということで、一から絵本を作ります。デジタルだけでなく、協賛金を募り、紙媒体の絵本も作り、申し込んでいただくと石川県内の幼稚園や保育園・こども園に無料でプレゼントしていますとの説明でした。

画家もコンクールをして決定し、何度も話し合いをもうけて、作成したとの事でした。



(岐阜県建築士会青年委員会の紹介の様子)

今回初めて知ったのですが「東海北陸ブロック会青年建築士協議会」と通称「THB」と言うのだそうです。オープニングの映像で「THB」と出てきてなんなのだろうと疑問に思っていたら、資料の中に説明がありました。



休憩を挟んで分科会です。

第1部 講演会

演題「地方の魅力的な品をブランド化」

講師 高野誠鮮氏(日蓮宗本證山妙法寺 住職)

第2部 パネルディスカッション

テーマ：

まちづくりとブランディング—建築、まちは誰のモノか

モデレータ：

森山奈美氏(株式会社御祓川 代表取締役)

パネラー：

高野誠鮮氏(日蓮宗本證山妙法寺 住職)

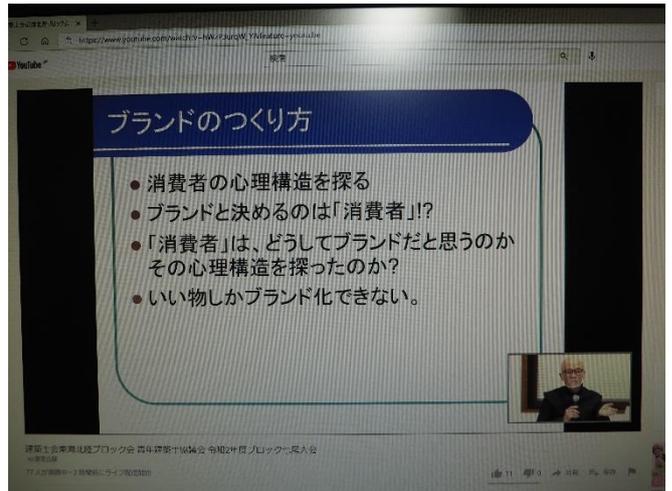
岡田翔太郎氏

(岡田翔太郎建築デザイン事務所商事合同)

パネラーはもう一人今井絵理子氏(参議院議員)が参加予定でしたが、公務が忙しく欠席で、事前収録録画が流れました。



(講師紹介の様子)



(講演会の様子)

講師の高野誠鮮氏ですが、プロフィールを聞いていて、どこかで聞いたことあるなあと思い、気がつきました。「激レアさんを連れてきた」というテレビ番組で出演していた人でした。

羽咋市職員の時に、地域活性化で「UFOでのまちづくり」を始めて、NASA から提供された実物を多数展示している宇宙博物館「コスモイル羽咋」を作ったり、農山漁村活性化計画に着手して、神子原米をローマ法王に献上して地域のブランド化の活動をされて、退職された今も総務省地域力創造アドバイザーをつとめたりと活動をされている方です。

ブランド化をするには、できなり理由を考えない、できる理由だけを考え、失敗したらどうして失敗したのかを考えて、失敗から学び、次のトライを行い、成功するまで失敗し続ける事と言うことでした。

ブランドを決めるのは、消費者です。戦略が必要になります。

多くの人を動かす「メディア戦略」、購買意欲をかき立てる「ブランド化戦略」、多くの人を訪れる「交流戦略」等です。

素材はもともと良くなければ話になりませんが、本物の良い素材であれば、素材その物よりも、物語性を最初に作るようにする。「神子原米」を「ローマ法王に贈られた品」という付加価値を付ける等です。

表に出ているのは成功例だけですが、その裏には多くの失敗がありましたと話されました。でも前に進むエネルギーがすごい人だと思いました。

最後の質疑応答の質疑をチャット機能で受け取り、司会者が読み上げて、高野氏が返答しました。対面だと多くの人の中で手を上げて質疑をする事は大変ですが、これだとハードルが下がるように思いました。

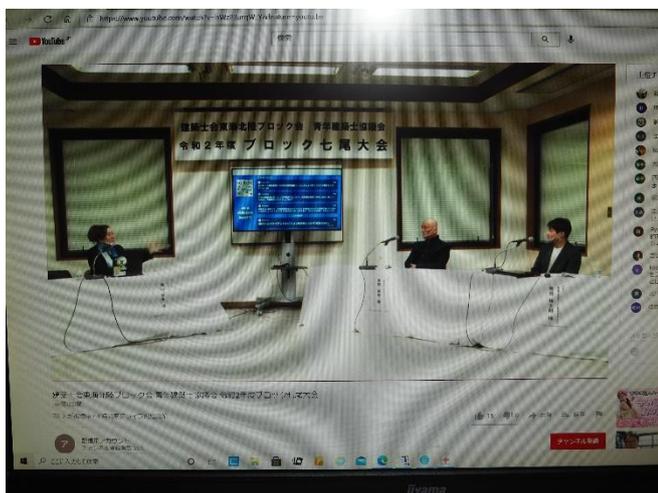
休憩を挟んでパネルディスカッションが始まりました。森山氏も岡田氏も七尾の人で、主に七尾についての話題から始まりました。

岡田氏は大学の卒業設計作品が七尾市の青柏祭での山車「でか山」をモチーフにされて、それが2014年の建築の甲子園・卒業設計日本一決定戦にて、日本一を受賞された方です。

slido(スライドウ、質疑応答サービス)を使い、視聴者からの質疑を受け取りパネラーが答えていく進め方をしました。

リモートなのでリアルタイムで視聴者にアンケートを取ったり、いろいろと便利な機能があるのだなあと気づかされた大会でした。

開催県の石川県に青年委員会の皆様お疲れ様でした。



(パネルディスカッションの様子)



(閉会式の様子)

■『建築と私』

一建築家 小川信子先生に聞くー を聴講して

報告者: 下川 滝美

令和3年3月13日(土) 13:00~15:30

宮城県建築士会女性部会・宮城県建築士会仙台支部女性部会合同企画 2020年度 事業

『建築と私』
一建築家 小川信子先生に聞くー

日本総合住生活(株) 日本女子大 寄付事業 記念講演 「住宅団地と暮らし」
～過去からニューノーマルの生活スタイルを学ぶ～
(■小川信子先生の講演の録画を ZOOM にて配信します。)

【プロフィール】
日本女子大学名譽教授: 小川信子 先生
日本女子大学生活芸術科住居専攻卒業後、土浦
亀城建築事務所勤務され、1955年～1998年日本
女子大学家政学部助手、助教授を経て、教授・
大学院生活研究科教授に、1998年日本女子大学
を定年退職。1998年～2003年北海道道庁井学園大
学・大学院教授を務める。1986年から1987年、
2003年～2005年の2回にわたり、スウェーデン
王立工科大学客員研究員を務められ、北海道道
井学園大学・大学院教授日本女子大学名譽教
授、工学博士就任。現在に至る。

住宅団地と暮らし
～過去からニューノーマルの生活スタイルを学ぶ～
小川信子
(日本女子大学名譽教授)
2020.11.5 (THU) 14:30～

【講演内容】
戦後の経済成長に伴って生じた様々な“ニューノーマル”を踏まえつつ、時代に合った生活スタイルを研究してきた小川信子名譽教授に、現在の“ニューノーマル”に合わせた生活スタイルのあり方や可能性及び団地サービスの誕生秘話、子供にかかわる研究、今日、確立されている団地における住棟配置の研究について語っていただきます。小川信子名譽教授は吉野作蔵氏の長女でフランクロイドライトの共同建築家であった土浦信子と親交があり、著書「ビック・リトル・ノブ」で土浦信子について、著述しています。

女性委員会から「宮城県建築士会女性部会よりオンライン研修会のご案内が来ました」というメールが来ましたが2月の終わりに届きました。2020年度は新型コロナウイルスの影響で集まる事業が出来なくなりました。そんな中、年度末はzoom研修の案内が立て続けにくるようになりました。

コロナ禍で外出もまた研修もできない中で、自宅にいて他県の研修を受けることなど想像もしていなかったことですがコロナ禍の副産物としてとても嬉しく思っており、コロナ禍が治まっても続けてもらいたい活動です。

3月13日 宮城県建築士会女性部会の方からの案内から研修がはじまりました。

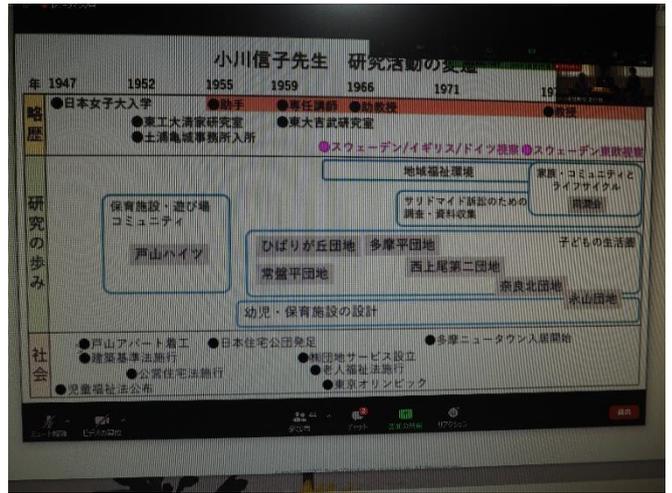
元連合会の女性委員長だった定行まり子さんとの対談形式で小川信子先生の学生時代からコロナ禍での生活を聞くものでした。

1945年の東京大空襲が先生の原点であること。子どもにかかわる研究が空襲での子どもの姿にあることを知りました。団地における住棟の配置の研究でのお話は子どもの遊ぶ姿を考えて計画されたものということをお聞きして感動しました。

先生の話のスウェーデン発祥のコレクティブハウスに

は、一般の方135人、高齢者35人、障害者10人と、多世代がともに暮らし助け合い、より豊かなコミュニティを築くことを目的につくられた都市型集合住宅であることに興味を持ちました。障がいのある方や高齢者が孤立するのではなく一般の団地の中に混ざって生活すれば安心して暮らしやすいと以前から思っていたのでこの住まい方の話にはとても共感できました。

定行さんが先生にコロナ禍はどう過ごしていましたか？という質問のお返事として、自身のやってきたことを整理する良い機会だったと言われたことも91歳という年齢を感じさせないパワーと魅力いっぱいの対談でした。全国から53名の方がこの講演を聴いていました。最後に宮城県女性部会の部会長から呼びかけがありブロックごとに顔出しをして先生に感謝を込めて手をふりました。コロナ禍ですが全国がつながった良い研修でした。ありがとうございました。



(資料を使つての講義の様子)

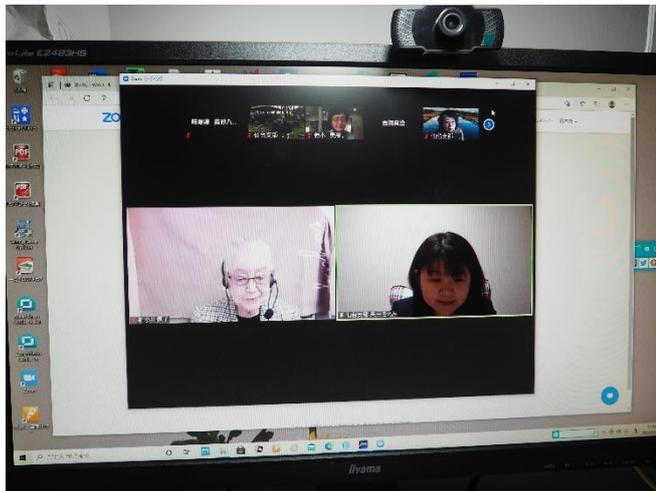
編集後記

47号をお届けします。

令和2年度1年間の報告となっています。
 新型コロナウイルスの為、行事等が中止・延期となり、今年度はほとんど活動ができませんでした。
 委員会もリモートで2回開催しただけでした。
 今回は「菖蒲」をマークに使用しましたがいかがだったでしょうか

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。
 また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)



(小川信子先生と司会者)



(録画の映像 小川信子先生と定行まり子氏)

公益社団法人 岐阜県建築士会
 岐阜市藪田南5丁目14番地12号
 岐阜県シンクタンク庁舎4階
 TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367
<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>
 Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp
 ※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

